

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために ～在宅医療ケアを必要とする子どもたちの今～

病気や障がいにより、医療的なケア（たんの吸引、人口呼吸、胃ろうなど）を必要とする子どもたちの地域生活を支える具体的な取り組みが少ない状況下で、本人や保護者、支援者の奮闘が続いています。このような中、2016年5月、障害者総合福祉法、児童福祉法の一部が改正され、初めて医療的ケアを必要とする子どもたちのへの支援の必要性・充実が盛り込まれました。

そこで、この間、小児科医として道内外を奔走されてこられた土畠智幸さんを講師に迎え、子どもたちを取り巻く現状や課題、今後の展望などについてお話を伺います。

- **日時**：2017年3月4日（土）13：30～15：30
- **場所**：生涯学習センター ちえりあ 大研修室（2F）
西区宮の沢1条1丁目1-10
地下鉄東西線：宮の沢駅下車徒歩5分
- **講師**：土畠 智幸さん（医師）

＜プロフィール＞

土畠 智幸さん（どばた ともゆき）
2003年 北海道大学 医学部 卒業
2003年4月～2013年10月
医療法人溪仁会
手稲溪仁会病院 小児科
2013年11月～
医療法人稲生会 理事長
生涯医療クリニックさっぽろ院長
FM 三角山放送局ラジオ番組「耳をすませば」に月1回出演中



- **参加費**：500円（学生無料）
- **託児あり**（無料。定員あり。2/24迄にお申込ください。）
- **主催**：みんなの地域包括ケアを考える会（FB：@minnanochiiki）
申し込み、問い合わせ（奥田）TEL 090-5332-1974 FAX 011-219-0113
メール minnanochiiki@gmail.com
- **協賛**：生活クラブ生活協同組合
NPO法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
市民ネットワーク北海道

後援：札幌市（申請中）